

HAKUOH JHS NEWS

■発行所／白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131



白鷗大学足利中学校新聞 一vol.95-



総合優勝！3年1組

10月3日、今年の体育祭が新たな取り組みのもと行われた。例年、本校の体育祭は縦割りの4組対抗で行われる。しかし、新型コロナウィルス感染防止のため、クラス対抗での体育祭となつた。また、競技においてもソーシャルディスタンスができるだけ保った競技や接触がない競技が採用された。クラスの応援も大声での応援はしないなど例年とは異なる場面が多くみられた。そのような中でも生徒一人ひとりが体育祭を盛り上げようと全力で取り組む姿は、正にストローガンの名の通りであつた。

白鷗中の長い歴史に新たな1ページが加わつたと同時に、来年度は今までとは異なる観点から創意工夫をこらした個性豊かな企画、運営を行い、さらに素晴らしい体育祭へと発展させていきたいと思う。

体育祭ストローガン

コロナも暑さも吹き飛ばせ！

今こそ魅せよう白鷗魂

『勝利への想いに自肃なし』

あれ？え？本当に？

菊地 愛生



私は点数板を見て、目を疑つた。私達のクラスは言つてみれば不協和音。コロナ禍の自粛のせいもあり、お互いを知らぬまま、団結とは程遠いクラスだつた。

だが！しかし！我ら青組、3年1組は優勝した。チーム戦での優勝は、一人ひとりが自分の競技で精一杯の力を發揮した。例年と違い、最初で最後のクラス対抗戦。仲間と協力して一つの目標に向かつて努力し大成功を収めた楽しさと達成感を得た。これは、一生忘れることのない思い出となり、困難を乗り越えるときの心の支えになると思う。

みんなに感謝！ありがとう！

私たち青組、3年1組の22人なら、この経験を胸に、どんなことでも挑戦できると信じている。

25個の魂

安達 弘喜

第3位！
2年1組

吉村 和城

応援の魔力

堀 翠暉

「やつべ、最下位じやん！」

序盤の3年2組はあらゆる競技で負けを重ね優勝なんて無理と思われる状況であった。そんな中、「みんな、円陣組むぞ！」

こう言つたのはどんな競技でも皆を束ね、大声で応援をし続けていた我々

最高な体育祭

荒井 廉貴

「やつべ、最下位じやん！」

序盤の3年2組はあらゆる競技で負けを重ね優勝なんて無理と思われる状況であった。そんな中、「みんな、円陣組むぞ！」

こう言つたのはどんな競技でも皆を束ね、大声で応援をし続けていた我々

下剋上

吉村 和城

2020年、新型コロナウイルスが猛威を振るい組対抗という異例の形で行われることとなつた体育祭。僕はこの機会を

僕たち2年2組はみんな一人ひとりが最大の力を發揮して体育祭に挑みました。僕は力を發揮しそうと鼻血を出してしまった。僕は力で勝つことを思つて、下剋上を果たすことができました。クラスが一つになつて命練習していく、徐々に

悔しかつた体育祭

佐藤 光一郎

僕達、1年2組はどの競技にも全力を出し頑張りました。体育祭までの間、朝練ができるものは毎回参加し、授業の時では山勘レースなど普段はできない種目を行い、1年2組全員が一致団結して

や休み時間、体育祭練習の時間は、みんな一生懸命練習していく、徐々に

が組長、姜映在である。そこからだろうか、流れが変わつたのは、綱引が、ボール運び：と1位を取れる競技もあつた。この体育祭で僕は仲間に練習を積み上げても、トトと懸命に応援する事の凄まじさを思い知つた。どうなんに練習を積み上げても、本番に力を出し切れども、本番に力を出し切れるわけではない。むしろ半分出し切れるかどうか、お互いに応援し、大切な仲間の存在を再確認することで120%の実力が出せる。応援に心が入る意味がよくわかつた。気がつくと僕らは準優勝を獲得していた。

3年2組



不安でどうしたらいいかわからないとき、いつもそばにいて助けてくれたのがクラスメイトのみんなだつた。長縄の朝練

最高な体育祭

荒井 廉貴

下剋上

吉村 和城

悔しかつた体育祭

佐藤 光一郎

僕達、1年2組はどの競技にも全力を出し頑張りました。体育祭までの間、朝練ができるものは毎回参加し、授業の時では山勘レースなど普段はできない種目を行い、1年2組全員が一致団結して

や休み時間、体育祭練習の時間は、みんな一生懸命練習していく、徐々に

見舞われたが、そのおかげで冷静になることができました。結果としては5位でとても悔しかつたけれど、みんなで協力しながら、誰かが失敗しても5位でとても悔しかつた。これが僕の「最高」な思い出になりました。こんなに「最高」な思い出てくれたクラスのみんなに感謝しています。



2年1組

最高な体育祭

荒井 廉貴

下剋上

吉村 和城

悔しかつた体育祭

佐藤 光一郎

僕達、1年2組はどの競技にも全力を出し頑張りました。体育祭までの間、朝練ができるものは毎回参加し、授業の時では山勘レースなど普段はできない種目を行い、1年2組全員が一致団結して

や休み時間、体育祭練習の時間は、みんな一生懸命練習していく、徐々に

が組長、姜映在である。そこからだろうか、流れが変わつたのは、綱引が、ボール運び：と1位を取れる競技もあつた。この体育祭で僕は仲間に練習を積み上げても、トトと懸命に応援する事の凄まじさを思い知つた。どうなんに練習を積み上げても、本番に力を出し切れるわけではない。むしろ半分出し切れるかどうか、お互いに応援し、大切な仲間の存在を再確認することで120%の実力が出せる。応援に心が入る意味がよくわかつた。気がつくと僕らは準優勝を獲得していた。



2年1組

最高な体育祭

荒井 廉貴

下剋上

吉村 和城

悔しかつた体育祭

佐藤 光一郎

僕達、1年2組はどの競技にも全力を出し頑張りました。体育祭までの間、朝練ができるものは毎回参加し、授業の時では山勘レースなど普段はできない種目を行い、1年2組全員が一致団結して

や休み時間、体育祭練習の時間は、みんな一生懸命練習していく、徐々に

見舞われたが、そのおかげで冷静になることができました。結果としては5位でとても悔しかつた。これが僕の「最高」な思い出になりました。こんなに「最高」な思い出てくれたクラスのみんなに感謝しています。

